

受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。さて、「ファイデリティ・ロイヤル・コア・ファンド」は、第2期の決算を行ないました。当ファンドは、上場投資信託証券を通じて、実質的に世界(日本を含みます。)の債券(ハイ・イールド債券、投資適格債券、エマージング・マーケット債券を含みます。)や金融商品取引所に上場されている株式に投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願ひ申し上げます。

運用報告書
(全体版)

第2期(決算日 2025年4月25日)

計算期間(2024年4月26日～2025年4月25日)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合				
信託期間	原則として無期限(2023年9月8日設定)				
運用方針	<ul style="list-style-type: none">●ファイデリティ・ロイヤル・コア・マザーファンド受益証券が投資する上場投資信託証券を通じて、実質的に世界(日本を含みます。)の債券(ハイ・イールド債券、投資適格債券、エマージング・マーケット債券を含みます。)や金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式に投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。●長期的な資産別見通しと投資効率性を重視した資産配分に、相場環境に応じた中短期的な判断も加えて、リターンの獲得を目指します。●FILインベストメント・インターナショナルおよびFILインベストメント・マネジメント(シンガポール)・リミテッドに、運用の指図に関する権限を委託します。				
主要運用対象	<table border="1"><tr><td>ベビーファンド</td><td>ファイデリティ・ロイヤル・コア・マザーファンド受益証券を主要な投資対象とします。</td></tr><tr><td>マザーファンド</td><td>上場投資信託証券を通じて、実質的に世界(日本を含みます。)の債券(ハイ・イールド債券、投資適格債券、エマージング・マーケット債券を含みます。)や金融商品取引所に上場されている株式を主要な投資対象とします。</td></tr></table>	ベビーファンド	ファイデリティ・ロイヤル・コア・マザーファンド受益証券を主要な投資対象とします。	マザーファンド	上場投資信託証券を通じて、実質的に世界(日本を含みます。)の債券(ハイ・イールド債券、投資適格債券、エマージング・マーケット債券を含みます。)や金融商品取引所に上場されている株式を主要な投資対象とします。
ベビーファンド	ファイデリティ・ロイヤル・コア・マザーファンド受益証券を主要な投資対象とします。				
マザーファンド	上場投資信託証券を通じて、実質的に世界(日本を含みます。)の債券(ハイ・イールド債券、投資適格債券、エマージング・マーケット債券を含みます。)や金融商品取引所に上場されている株式を主要な投資対象とします。				
組入制限	<table border="1"><tr><td>ベビーファンド</td><td>外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への実質投資割合には制限を設けません。 債券への実質投資割合には制限を設けません。</td></tr><tr><td>マザーファンド</td><td>外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。 債券への投資割合には制限を設けません。</td></tr></table>	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への実質投資割合には制限を設けません。 債券への実質投資割合には制限を設けません。	マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。 債券への投資割合には制限を設けません。
ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への実質投資割合には制限を設けません。 債券への実質投資割合には制限を設けません。				
マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。 債券への投資割合には制限を設けません。				
分配方針	<p>毎決算時(原則4月25日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行ないます。</p> <ul style="list-style-type: none">●分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行なうものではありません。●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行ないます。				

〈お問合せ先〉

ファイデリティ投信株式会社 カスタマー・コミュニケーション部
東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI

 0570-051-104

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

固定電話、携帯電話からお問い合わせいただけます。

国際電話、一部のIP電話からはご利用いただけません。

 <https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

ファイデリティ投信株式会社



■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率等	株式先物組入比率	公社債組入比率	債券先物組入比率	投資信託受益証券組入比率	投資証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率							
(設定日) 2023年9月8日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	% —	% —	% —	% —	百万円 1,744
1期(2024年4月25日)	10,203	0	2.0	—	—	17.8	12.5	55.3	—	8,885
2期(2025年4月25日)	10,197	0	△0.1	—	0.2	16.5	27.7	53.0	—	14,906

(注1) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークは設定しておりません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率等」「株式先物組入比率」「公社債組入比率」「債券先物組入比率」「投資信託受益証券組入比率」「投資証券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産額は当初設定元本を記載しています。

(注4) 新株予約権証券の組入がある場合には、「株式組入比率等」に含みます。

(注5) 株式先物組入比率、債券先物組入比率=買建比率-売建比率

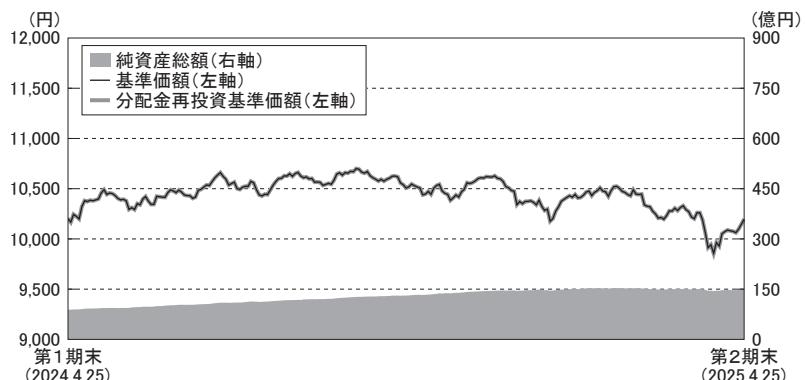
■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率等	株式先物組入比率	公社債組入比率	債券先物組入比率	投資信託受益証券組入比率	投資証券組入比率
	騰落率	比率						
(期首) 2024年4月25日	円 10,203	% —	% —	% —	% 17.8	% 12.5	% 55.3	% —
4月末	10,244	0.4	—	—	18.1	19.7	55.7	—
5月末	10,311	1.1	—	—	21.2	18.2	61.0	—
6月末	10,431	2.2	—	—	22.0	18.8	60.1	—
7月末	10,523	3.1	—	1.6	21.0	18.0	50.3	—
8月末	10,617	4.1	—	1.5	19.8	19.5	54.8	—
9月末	10,694	4.8	—	—	25.2	17.0	57.3	—
10月末	10,507	3.0	—	0.2	23.8	19.3	55.3	—
11月末	10,578	3.7	—	0.2	17.2	14.4	59.4	—
12月末	10,364	1.6	—	0.2	16.1	18.0	61.5	—
2025年1月末	10,467	2.6	—	0.2	22.6	19.3	56.0	—
2月末	10,446	2.4	—	0.2	27.8	11.2	56.2	—
3月末	10,218	0.1	—	0.2	21.4	19.9	51.2	—
(期末) 2025年4月25日	10,197	△0.1	—	0.2	16.5	27.7	53.0	—

(注) 講落率は期首比です。

■運用経過の説明

●基準価額等の推移



第2期首:10,203円
第2期末:10,197円(既払分配金0円)
騰落率:-0.1%(分配金再投資ベース)

(注)分配金再投資基準価額は、2024年4月25日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

*分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指標がないためベンチマーク及び参考指標は設定しておりません。

●基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの騰落率は、-0.1%でした。

<プラス要因>

- ・先進国株式(除く日本)およびハイ・イールド債券が上昇したこと

<マイナス要因>

- ・日本株が低迷したこと

●投資環境

【投資適格債券】

当期の世界の投資適格債券市場は、中央銀行の金融政策の変化や経済の不確実性、地政学的緊張の高まりなどによりボラティリティが上昇する場面があったものの、上昇しました(米ドルベース)。5月には、軟調な米雇用統計や消費者物価指数でインフレ減速が確認され、米国の長期金利は低下基調で推移しました。8月初旬には、米国の雇用統計が市場予想を大幅に下回り、景気後退への懸念が高まり長期金利は大幅に低下しました。9月中旬に、米国政策金利の大幅な利下げが決定されたものの、今後の利下げペースへの過度な期待をけん制する姿勢も見られたことから、長期金利は小幅に上昇しました。11月の米大統領選後は、楽観的な景況感を背景に、リスク資産全般が選好されたものの、今後の景気や政策対応に対する不確実性が慎重な投資家心理につながり、調整の値動きとなりました。終盤には、底堅い米雇用統計などが投資家心理を下支えしましたが、米関税政策強化への懸念などが、投資家心理の重石となりました。期末には、米国が関税策を緩和する姿勢を示したことを受け、インフレに対する過度な警戒感が後退する中、国債金利は低下しました。欧州では、6月に政情不安が高まったことや、米国のインフレ鈍化などを背景にドイツや英国の長期金利は低下しました。

【新興国債券】

当期の新興国債券市場は上昇しました(米ドルベース)。期初には、地政学リスクや一部の新興国における金融緩和の縮小に対する警戒感の高まりなどを受け、米ドル建て新興国債券の米国債に対する上乗せ金利は拡大しました。9月には、米国の大額な利下げや中国当局の景気支援策が好感され、米ドル建て新興国債券の米国債に対する上乗せ金利は縮小しました。終盤には、米国の関税策を巡る不確実性などを受けて、投資家のセンチメントは慎重な姿勢となりました。一方、幅広い新興国通貨が米ドルに対して上昇し、現地通貨建て新興国債券は堅調な値動きとなりました。

【ハイ・イールド債券】

当期の世界のハイ・イールド債券市場は、ボラティリティが上昇する場面があったものの米国の景況感の底堅さや、堅調な企業活動などを背景に上昇しました(米ドルベース)。期前半には、中東を中心とした地政学リスクや、フランスの選挙をめぐる不透明感などによりボラティリティが高まりましたが、米国の消費者物価指数で物価上昇圧力の緩和が意識されたことや、経済指標により米国景気の減速感が示唆されたことから、利下げへの期待感などによりハイ・イールド債券市場は上昇しました。9月中旬には、米連邦公開市場委員会(FOMC)で大幅な利下げが決定され、市場で経済のソフトランディング(軟着陸)への期待が高まり、ハイ・イールド債券市場は堅調に推移しました。終盤には、米政権による関税策によりインフレ加速と景気悪化への懸念が強まり、米国ハイ・イールド債券のスプレッド(米国国債に対する上乗せ利回り)は拡大しました。

【先進国株式】

当期の世界の株式市場は、先進国を中心とした金融緩和政策や、堅調な経済指標などにより、上昇しました(米ドルベース)。期初には、米国のインフレ鈍化が確認され、年内の利下げが意識されるなか、米国の景気について、楽観的な見通しが広がりました。欧州株式市場は、好調な企業業績に加え、英国や欧州の利下げ観測の高まりが投資家心理を下支えし、上昇しました。8月初旬には、米国の景気後退への警戒感が強まり、一時、株価は急落しました。その後、堅調な個人消費や鈍化するインフレ指標が好感され、米国株は上昇しました。11月の米大統領選挙後は、次期政権による政策への期待が高まり、米国株は上昇しました。その後、底堅い米国経済を背景に今後の利下げペースは緩やかになるとの観測や、米新政権による関税強化を巡り、政治経済の不確実性が高まったことなどが市場心理の重石となりました。期末には、関税への過度な懸念が和らぎ、株価は上昇しました。

【新興国株式】

当期の新興国株式市場は、今後の金融政策への期待の変化や地政学的緊張の高まり、中国の景気回復動向などによりボラティリティが上昇する場面があったものの、上昇しました(米ドルベース)。インド株式市場は、6月のインドの総選挙の結果を受けて下落しましたが、その後、市場は落ち着きを取り戻し上昇基調となりました。8月初旬には、米国の景気後退懸念などにより変動性の高い値動きとなりましたが、米景気のソフトランディング期待の高まりなどを背景に、市場は上昇に転じました。9月には、中国の金融緩和措置と不動産市場支援策の発表を受けて投資家心理が改善し、中国の株価は大幅に上昇しました。その後、米新政権による関税強化を巡って政治経済の不確実性が高まったことなどが投資家心理の重荷となりました。

●ポートフォリオ

主として、フィデリティ・ロイヤル・コア・マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券が投資する上場投資信託証券を通じて、実質的に世界(日本を含みます。)の債券(ハイ・イールド債券、投資適格債券、エマージング・マーケット債券を含みます。)や金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式に投資を行なっています。また、コモディティ関連の上場投資信託や不動産投資信託(リート)、現物の債券および株式への投資に加え、投資資産に関連するデリバティブ取引を行なうことがあります。長期的な資産別見通しと投資効率性を重視した資産配分に、相場環境に応じた中短期的な判断も加えて、リターンの獲得を目指しています。当期につきましても、上記の方針に沿った運用を行ないました。

●ベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指標がないためベンチマーク及び参考指標は設定しておりません。

■分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきました。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第2期	
	2024年4月26日～2025年4月25日	
当期分配金 (対基準価額比率)	0	-%
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	295	

*「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

*当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

* 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがあります、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

■今後の運用方針

当ファンドは、引き続き、主として、フィデリティ・ロイヤル・コア・マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券が投資する上場投資信託証券を通じて、実質的に世界(日本を含みます。)の債券(ハイ・イールド債券、投資適格債券、エマージング・マーケット債券を含みます。)や金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式に投資を行ないます。また、コモディティ関連の上場投資信託や不動産投資信託(リート)、現物の債券および株式への投資に加え、投資資産に関連するデリバティブ取引を行なうことがあります。長期的な資産別見通しと投資効率性を重視した資産配分に、相場環境に応じた中短期的な判断も加えて、リターンの獲得を目指します。

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

項目	第2期		項目の概要	
	2024年4月26日～2025年4月25日			
	金額	比率		
(a)信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	89円 (34) (52) (3)	0.852% (0.330) (0.495) (0.027)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,440円です。 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理及び事務手続き等の対価 運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価	
(b)売買委託手数料 （先物・オプション） （投資信託受益証券）	9 (1) (9)	0.089 (0.005) (0.084)	(b)売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料	
(c)有価証券取引税 （投資信託受益証券）	0 (0)	0.000 (0.000)	(c)有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金	
(d)その他費用 （保管費用） （監査費用） （その他）	5 (3) (0) (2)	0.052 (0.029) (0.003) (0.020)	(d)その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。 監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用 その他には、法定書類等（有価証券届出書、目論見書、運用報告書等）の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。	
合計	104	0.993		

(注1)期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

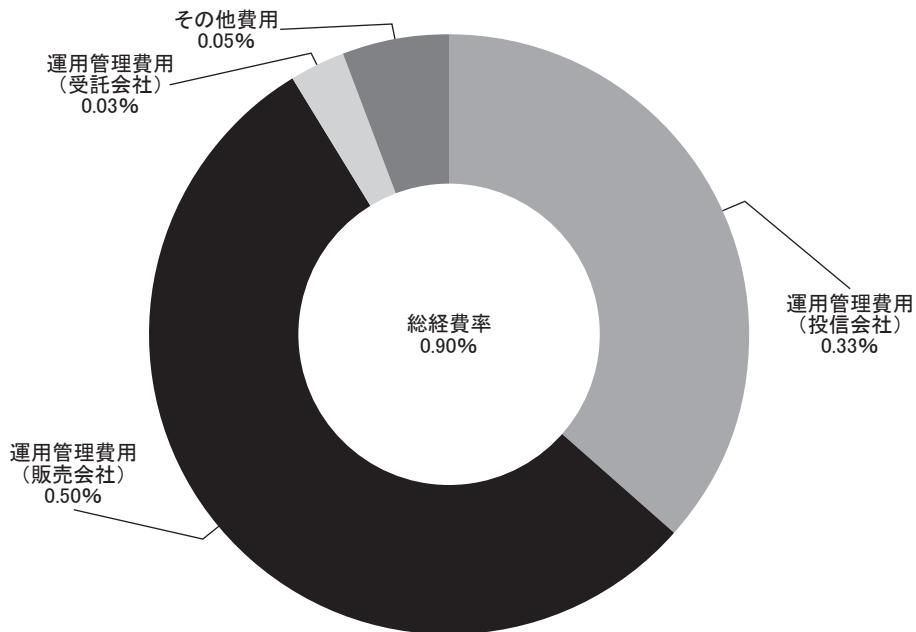
(注2)「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

(注3)「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.90%です。



(注1)1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4)各比率は、年率換算した値です。

(注5)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2024年4月26日から2025年4月25日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
フィデリティ・ロイヤル・コア・マザーファンド	千口 6,190,539	千円 6,555,493	千口 439,634	千円 458,450

(注) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等 (2024年4月26日から2025年4月25日まで)

期中における当ファンドに係る利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細 (2025年4月25日現在)

●親投資信託残高

種 類	期首 (前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
フィデリティ・ロイヤル・コア・マザーファンド	千口 8,660,669	千口 14,411,574	千円 14,905,891

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成 (2025年4月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
フィデリティ・ロイヤル・コア・マザーファンド	千円 14,905,891	% 99.5
コ ー ル・ロ ー ン 等、そ の 他	74,132	0.5
投 資 信 託 財 産 総 額	14,980,023	100.0

(注1) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、4月25日における邦貨換算レートは1アメリカ・ドル=143.11円、1カナダ・ドル=103.20円、1ニュージーランド・ドル=85.67円、1イギリス・ポンド=190.52円、1スイス・フラン=172.36円、100韓国・ウォン=10.00円、1南アフリカ・ランド=7.61円、1ペルー・ソル=38.925円、1ユーロ=162.52円です。

(注2) フィデリティ・ロイヤル・コア・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建資産(9,674,101千円)の投資信託財産総額(15,425,977千円)に対する比率は、62.7%です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年4月25日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円 14,980,023,871
コール・ローン等	7,490,414
フィデリティ・ロイヤル・コア・マザーファンド(評価額)	14,905,891,487
未収入金	66,641,970
(B) 負債	73,457,287
未払解約金	9,972,951
未払信託報酬	62,189,284
その他の未払費用	1,295,052
(C) 純資産総額(A-B)	14,906,566,584
元本	14,619,227,340
次期繰越損益金	287,339,244
(D) 受益権総口数	14,619,227,340口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,197円

- (注1) 当期における期首元本額8,708,272,334円、期中追加設定元本額6,820,292,435円、期中一部解約元本額909,337,429円です。
- (注2) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

■損益の状況

当期 自2024年4月26日 至2025年4月25日

項目	当期
(A) 有価証券売買損益	△85,317,702
売 買 益	7,156,294
売 買 損	△92,473,996
(B) 信託報酬等	△112,075,442
(C) 当期損益金(A+B)	△197,393,144
(D) 前期繰越損益金	128,546,516
(E) 追加信託差損益金	356,185,872
(配当等相当額)	(111,082,096)
(売買損益相当額)	(245,103,776)
(F) 合計(C+D+E)	287,339,244
次期繰越損益金(F)	287,339,244
追加信託差損益金	356,185,872
(配当等相当額)	(125,703,358)
(売買損益相当額)	(230,482,514)
分配準備積立金	306,093,522
繰越損益金	△374,940,150

(注1) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注2) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、純資産総額に対して年0.32%以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

(注5) 分配金の計算過程は以下の通りです。

当期	
(a) 費用控除後の配当等収益	177,547,006円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	0円
(c) 収益調整金	125,703,358円
(d) 分配準備積立金	128,546,516円
(e) 分配可能額(a+b+c+d)	431,796,880円
1万口当たり分配可能額	295.36円
(f) 分配金額	0円
1万口当たり分配金額(税引前)	0円

<お知らせ>

- 2025年4月1日付で投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款中の関連条項に所要の変更を行いました。2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

フィデリティ・ロイヤル・コア・マザーファンド 運用報告書

《第2期》

決算日 2025年4月25日
(計算期間: 2024年4月26日から2025年4月25日まで)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	●主として上場投資信託証券を通じて、実質的に世界(日本を含みます。)の債券(ハイ・イールド債券、投資適格債券、エマージング・マーケット債券を含みます。)や金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式に投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。 ●長期的な資産別見通しと投資効率性を重視した資産配分に、相場環境に応じた中短期的な判断も加えて、リターンの獲得を目指します。 ●FILインベストメント・インターナショナルおよびFILインベストメント・マネジメント(シンガポール)・リミテッドに、運用の指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	上場投資信託証券を通じて、実質的に世界(日本を含みます。)の債券(ハイ・イールド債券、投資適格債券、エマージング・マーケット債券を含みます。)や金融商品取引所に上場されている株式を主要な投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。 債券への投資割合には制限を設けません。

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	株式組入比率等	株式先物組入比率	公 社 債 組入比率	債券先物組入比率	投資信託受益証券組入比率	投資証券組入比率	純 資 産 額
(設定日) 2023年9月8日	円 10,000	% —	% —	% —	% —	% —	% —	百万円 1,744
1期 (2024年4月25日)	10,259	2.6	—	—	17.8	12.5	55.3	—
2期 (2025年4月25日)	10,343	0.8	—	0.2	16.5	27.7	53.0	—
								14,905

(注1) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークは設定しておりません。

(注2) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

(注3) 新株予約権証券の組入がある場合には、「株式組入比率等」に含みます。

(注4) 株式先物組入比率、債券先物組入比率=買建比率-売建比率

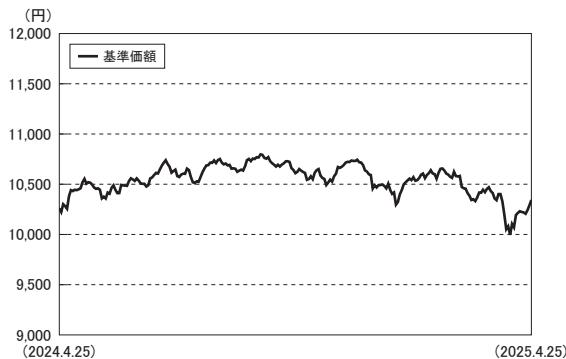
■当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	株式組入比率等	株式先物組入比率	公 社 債 組入比率	債券先物組入比率	投資信託受益証券組入比率	投資証券組入比率
(期 首) 2024年4月25日	円 10,259	% —	% —	% 17.8	% 12.5	% 55.3	% —
4月末	10,301	0.4	—	—	18.1	19.7	55.7
5月末	10,376	1.1	—	—	21.2	18.2	60.9
6月末	10,504	2.4	—	—	22.0	18.8	60.0
7月末	10,604	3.4	—	1.6	21.0	17.9	50.2
8月末	10,706	4.4	—	1.5	19.8	19.5	54.7
9月末	10,792	5.2	—	—	25.1	17.0	57.1
10月末	10,612	3.4	—	0.2	23.8	19.3	55.3
11月末	10,691	4.2	—	0.2	17.2	14.4	59.4
12月末	10,483	2.2	—	0.2	16.1	18.0	61.4
2025年1月末	10,595	3.3	—	0.2	22.5	19.3	55.9
2月末	10,581	3.1	—	0.2	27.7	11.2	56.0
3月末	10,358	1.0	—	0.2	21.3	19.9	51.0
(期 末) 2025年4月25日	10,343	0.8	—	0.2	16.5	27.7	53.0

(注) 謄落率は期首比です。

■運用経過の説明

●基準価額の推移



●基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの騰落率は+0.8%でした。

<プラス要因>

- ・先進国株式（除く日本）およびハイ・イールド債券が上昇したこと

<マイナス要因>

- ・日本株が低迷したこと

●投資環境

【投資適格債券】

当期の世界の投資適格債券市場は、中央銀行の金融政策の変化や経済の不確実性、地政学的緊張の高まりなどによりボラティリティが上昇する場面があったものの、上昇しました（米ドルベース）。5月には、軟調な米雇用統計や消費者物価指数でインフレ減速が確認され、米国の長期金利は低下基調で推移しました。8月初旬には、米国の雇用統計が市場予想を大幅に下回り、景気後退への懸念が高まり長期金利は大幅に低下しました。9月中旬に、米国政策金利の大幅な利下げが決定されたものの、今後の利下げペースへの過度な期待をけん制する姿勢も見られたことから、長期金利は小幅に上昇しました。11月の米大統領選後は、楽観的な景況感を背景に、リスク資産全般が選好されたものの、今後の景気や政策対応に対する不確実性が慎重な投資家心理につながり、調整の値動きとなりました。終盤には、底堅い米雇用統計などが投資家心理を下支えましたが、米関税政策強化への懸念などが、投資家心理の重石となりました。期末には、米国が関税策を緩和する姿勢を示したことを受け、インフレに対する過度な警戒感が後退する中、国債金利は低下しました。欧州では、6月に政情不安が高まったことや、米国のインフレ鈍化などを背景にドイツや英国の長期金利は低下しました。

【新興国債券】

当期の新興国債券市場は上昇しました（米ドルベース）。期初には、地政学リスクや一部の新興国における金融緩和の縮小に対する警戒感の高まりなどを受け、米ドル建て新興国債券の米国債に対する上乗せ金利は拡大しました。9月に

は、米国の大幅な利下げや中国当局の景気支援策が好感され、米ドル建て新興国債券の米国債に対する上乗せ金利は縮小しました。終盤には、米国の関税策を巡る不確実性などを受けて、投資家のセンチメントは慎重な姿勢となりました。一方、幅広い新興国通貨が米ドルに対して上昇し、現地通貨建て新興国債券は堅調な値動きとなりました。

【ハイ・イールド債券】

当期の世界のハイ・イールド債券市場は、ボラティリティが上昇する場面があったものの米国の景況感の底堅さや、堅調な企業活動などを背景に上昇しました（米ドルベース）。期前半には、中東を中心とした地政学リスクや、フランスの選挙をめぐる不透明感などによりボラティリティが高まりましたが、米国の消費者物価指数で物価上昇圧力の緩和が意識されたことや、経済指標により米国景気の減速感が示唆されたことから、利下げへの期待感などによりハイ・イールド債券市場は上昇しました。9月中旬には、米連邦公開市場委員会（FOMC）で大幅な利下げが決定され、市場で経済のソフトランディング（軟着陸）への期待が高まり、ハイ・イールド債券市場は堅調に推移しました。終盤には、米政権による関税策によりインフレ加速と景気悪化への懸念が強まり、米国ハイ・イールド債券のスプレッド（米国国債に対する上乗せ利回り）は拡大しました。

【先進国株式】

当期の世界の株式市場は、先進国を中心とした金融緩和政策や、堅調な経済指標などにより、上昇しました（米ドルベース）。期初には、米国のインフレ鈍化が確認され、年内の利下げが意識されるなか、米国の景気について、楽観的な見通しが広がりました。欧州株式市場は、好調な企業業績に加え、英国や欧州の利下げ観測の高まりが投資家心理を下支えし、上昇しました。8月初旬には、米国の景気後退への警戒感が強まり、一時、株価は急落しました。その後、堅調な個人消費や鈍化するインフレ指標が好感され、米国株は上昇しました。11月の米大統領選挙後は、次期政権による政策への期待が高まり、米国株は上昇しました。その後、底堅い米国経済を背景に今後の利下げペースは緩やかになるとの観測や、米新政権による関税強化を巡り、政治経済の不確実性が高まったことなどが市場心理の重石となりました。期末には、関税への過度な懸念が和らぎ、株価は上昇しました。

【新興国株式】

当期の新興国株式市場は、今後の金融政策への期待の変化や地政学的緊張の高まり、中国の景気回復動向などによりボラティリティが上昇する場面があったものの、上昇しました（米ドルベース）。インド株式市場は、6月のインドの総選挙の結果を受けて下落しましたが、その後、市場は落ち着きを取り戻し上昇基調となりました。8月初旬には、米国の景気後退懸念などにより変動性の高い値動きとなりましたが、米景気のソフトランディング期待の高まりなどを背景に、市場は上昇に転じました。9月には、中国の金融緩和措置と不動産市場支援策の発表を受けて投資家心理が改善し、中国の株価は大幅に上昇しました。その後、米新政権による関税強化を巡って政治経済の不確実性が高まったことなどが投資家心理の重荷となりました。

●ポートフォリオ

主として上場投資信託証券を通じて、実質的に世界(日本を含みます。)の債券(ハイ・イールド債券、投資適格債券、エマージング・マーケット債券を含みます。)や金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式に投資を行なっています。また、コモディティ関連の上場投資信託や不動産投資信託(リート)、現物の債券および株式への投資に加え、投資資産に関連するデリバティブ取引を行なうことがあります。長期的な資産別見通しと投資効率性を重視した資産配分に、相場環境に応じた中短期的な判断も加えて、リターンの獲得を目指しています。当期につきましても、上記の方針に沿った運用を行ないました。

■今後の運用方針

当ファンドは、引き続き、主として、上場投資信託証券を通じて、実質的に世界(日本を含みます。)の債券(ハイ・イールド債券、投資適格債券、エマージング・マーケット債券を含みます。)や金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式に投資を行ないます。また、コモディティ関連の上場投資信託や不動産投資信託(リート)、現物の債券および株式への投資に加え、投資資産に関連するデリバティブ取引を行なうことがあります。長期的な資産別見通しと投資効率性を重視した資産配分に、相場環境に応じた中短期的な判断も加えて、リターンの獲得を目指します。

■1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

(2024年4月26日～2025年4月25日)

項目	金額
(a)売買委託手数料 (先物・オプション) (投資信託受益証券)	9円 (1) (9)
(b)有価証券取引税 (投資信託受益証券)	0 (0)
(c)その他費用 (保管費用)	3 (3)
合計	12

(注) 費用明細の項目の概要および注記については、前述の「1万口（元本10,000円）当たりの費用明細」をご参照ください。

■売買及び取引の状況（2024年4月26日から2025年4月25日まで）

(1) 公社債

	買付額	売付額
国内	千円	千円
国 債 証 券	1,586,731	1,183,283 (-)
外国		
ア メ リ カ	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
国 債 証 券	37,584	29,530 (-)
ニ ュ ー ジ 一 ラ ン ド	千ニュージーランド・ドル	千ニュージーランド・ドル
国 債 証 券	21,957	22,848 (-)
イ ギ リ ス	千イギリス・ポンド	千イギリス・ポンド
国 債 証 券	3,538	3,487 (-)
ノ ル ウ ェ 一	千ノルウェー・クローネ	千ノルウェー・クローネ
国 債 証 券	49,721	48,543 (-)
ブ ラ ジ ル	千ブラジル・レアル	千ブラジル・レアル
国 債 証 券	22,261	21,115 (-)
南 ア フ リ カ	千南アフリカ・ランド	千南アフリカ・ランド
国 債 証 券	50,609	115,084 (-)
ペ ル 一	千ペルー・ソル	千ペルー・ソル
国 債 証 券	11,316	11,035 (-)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

(2) 投資信託受益証券、投資証券

	買付		売付	
	単位数又は口数	金額	単位数又は口数	金額
国内				
TOPIX連動型上場投資信託	千口 257.68 (-)	千円 680,548 (-)	千口 105.09 (-)	千円 297,555 (-)
外国				
(アメリカ)	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
ISHARES PHYSICAL GOLD ETC	12.875 (-)	805 (-)	- (-)	- (-)
ISHARES GOLD PRODUCERS UCITS E	67.039 (-)	1,027 (-)	67.039 (-)	1,185 (-)
ISHARES CORE EM IMI ACC	46.87 (-)	1,492 (-)	46.87 (-)	1,577 (-)
AMUNDI US TIPS GOVERNMENT INFL	2.603 (-)	292 (-)	8.567 (-)	956 (-)
ISHARES CORE MSCI PACIF X-JP	1.359 (-)	267 (-)	2.485 (-)	465 (-)
ISHARES MSCI INDIA UCITS ETF	49.819 (-)	492 (-)	79.779 (-)	702 (-)
INVESCO KBW BANK ETF	53.575 (-)	3,721 (-)	53.575 (-)	2,762 (-)
KRANESHARES CSI CHINA INT ETF	116.471 (-)	2,546 (-)	95.692 (-)	2,052 (-)
ISH EDGE S&P500 MIN VOL USD AC	72.533 (-)	7,301 (-)	100.09 (-)	9,847 (-)
ISHARES II PLC - ISHAR TIP ETF	3,190.374 (-)	16,127 (-)	1,521.546 (-)	7,717 (-)
ISHARES MSCI CHINA UCITS ETF	222.538 (-)	1,099 (-)	283.287 (-)	1,272 (-)
ISHARES S&P CONSUMER DSCRTN	81.972 (-)	1,314 (-)	3.681 (-)	49 (-)
FID SUS GLB HY ETF USD HG	377.34 (-)	1,906 (-)	1,092.932 (-)	5,608 (-)
ISHARES JPM EM LCL GOV USD A	82.386 (-)	401 (-)	231.137 (-)	1,122 (-)
XTRACKERS S&P 500 EQUAL WEIGHT	61.519 (-)	5,933 (-)	61.519 (-)	5,998 (-)
ISHARES MSCI KOREA UCITS ETF U	42.743 (-)	1,899 (-)	65.526 (-)	2,746 (-)
INVESCO AT1 CAPITAL BOND UCITS ETF	39.387 (-)	1,053 (-)	39.384 (-)	1,055 (-)

	買付		売付	
	単位数又は口数	金額	単位数又は口数	金額
外国				
L&G ESG EMERGING MARKETS GOVER	371.328	3,312	118.347	1,052
	(-)	(-)	(-)	(-)
FIRST TR NASDAQ CLEAN EDGE ETF	12.342	1,545	3.452	408
	(-)	(-)	(-)	(-)
ISHARES BROAD USD HY UCITS ETF	3,136.675	15,000	2,127.902	10,100
	(-)	(-)	(-)	(-)
GX COPPER MINERS UCITS ETF	72.62	2,381	3.038	92
	(-)	(-)	(-)	(-)
DB X-TRACKERS CNX NIFTY UCITS	8.86	2,336	-	-
	(-)	(-)	(-)	(-)
SPDR S&P 400 US MID CAP ETF -	74.336	7,372	98.827	9,187
	(-)	(-)	(-)	(-)
ISHARES CORE S&P 500 UCITS ETF	31.73	18,668	43.136	26,666
	(-)	(-)	(-)	(-)
ISHARES S&P 500 IT ETF USD ACC	112.875	3,836	-	-
	(-)	(-)	(-)	(-)
ISHARES JPM USD EM BND USD A	258.922	1,472	-	-
	(-)	(-)	(-)	(-)
ISHARES S&P 500 COMM SEC UCI	350.57	4,031	41.411	432
	(-)	(-)	(-)	(-)
ISHARES MSCI TAIWAN	14.686	1,277	18.353	1,597
	(-)	(-)	(-)	(-)
ISHARES US MBS UCITS ETF	1,190.843	6,231	600.611	3,191
	(-)	(-)	(-)	(-)
(イギリス)	千口	千イギリス・ポンド	千口	千イギリス・ポンド
ISHARES PHYSICAL GOLD ETC	19.356	926	-	-
	(-)	(-)	(-)	(-)
ISHARES CORE FTSE 100 ACC	6.167	947	7.197	1,191
	(-)	(-)	(-)	(-)
(スイス)	千口	千スイス・フラン	千口	千スイス・フラン
ISHARES CORE SPI ETF CH	3.399	471	-	-
	(-)	(-)	(-)	(-)
(ユーロ(アイルランド))	千口	千ユーロ	千口	千ユーロ
VANGUARD EUR COR BND UCITS ETF	13.719	661	48.163	2,344
	(-)	(-)	(-)	(-)
SPARKCHANGE PHYSICAL CARBON EU	1.079	73	20.12	1,329
	(-)	(-)	(-)	(-)
(ユーロ(ルクセンブルグ))	千口	千ユーロ	千口	千ユーロ
AMUNDI MSCI BRAZIL	7.616	144	11.923	197
	(-)	(-)	(-)	(-)

	買付		売付	
	単位数又は口数	金額	単位数又は口数	金額
外国				
XTRACKERS II EUR HY UCITS ETF	144.694 (-)	2,324 (-)	— (-)	— (-)
XTRACKERS NIFTY 50 SWAP UCITS	4.596 (-)	1,208 (-)	4.596 (-)	1,215 (-)
(ユーロ(フランス))	千口	千ユーロ	千口	千ユーロ
AMUNDI MSCI GREECE UCITS ETF D	478.97 (-)	749 (-)	1,004.848 (-)	1,570 (-)
(ユーロ(ドイツ))	千口	千ユーロ	千口	千ユーロ
ISHARES STOXX EUROPE 600 CNSTR	25.73 (-)	1,958 (-)	— (-)	— (-)
ISHARES CORE EURO STOXX 50 ETF	68.056 (-)	3,501 (-)	62.96 (-)	3,191 (-)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

(3) 先物取引の種類別取引状況

種類別	買建		売建	
	新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
外国	百万円	百万円	百万円	百万円
株式先物取引	574	539	90	90
債券先物取引	16,902	13,735	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(4) スワップ及び先渡取引状況

種類	当期		
	取引契約金額		
	買建	売建	建
直物為替先渡取引(NDF)	百万円 6,903		百万円 6,827

(注) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等 (2024年4月26日から2025年4月25日まで)

期中における当ファンドに係る利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細 (2025年4月25日現在)

(1) 公社債

(A) 債券種類別開示

①国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちB級以下組入比率	残存期間別組入比率		
			%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 389,100 (389,100)	千円 361,979 (361,979)	% 2.4 (2.4)	% — (—)	% 2.4 (2.4)	% — (—)	% — (—)
合計	389,100 (389,100)	361,979 (361,979)	2.4 (2.4)	— (—)	2.4 (2.4)	— (—)	— (—)

(注1) ()内は非上場債で内書きです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価については証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。

②外国（外貨建）公社債

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちB級以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 10,161	千アメリカ・ドル 9,840	千円 1,408,319	% 9.4	% —	% 6.5	% 3.0	% —
ニュージーランド	千ニュージーランド・ドル 8,368	千ニュージーランド・ドル 8,119	千円 695,609	4.7	—	4.7	—	—
合計	—	—	2,103,928	14.1	—	11.1	3.0	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価については証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示

①国内（邦貨建）公社債

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日
(国債証券) 85 30年国債	% 2.3000	千円 389,100	千円 361,979	2054/12/20
合 計	—	389,100	361,979	—

(注) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

②外国（外貨建）公社債

銘 柄	当 期 末					償還年月日
	種 類	利 率	額面金額	評 価 額	外貨建金額 邦貨換算金額	
(アメリカ) MEXICO GOVT 5% 05/07/29	国債証券	% 5.0000	千アメリカ・ドル 3,148	千アメリカ・ドル 3,119	千円 446,410	2029/05/07
USTN 3.875% 08/15/34	国債証券	3.8750	2,020	1,956	279,949	2034/08/15
USTN TII 2.125% 02/15/54	国債証券	2.1250	4,992	4,765	681,959	2054/02/15
小 計		—	10,161	9,840	1,408,319	—
(ニュージーランド) NEW ZEALAND GOV 5% 05/15/54	国債証券	5.0000	千ニュージーランド・ドル 8,368	千ニュージーランド・ドル 8,119	695,609	2054/05/15
小 計		—	8,368	8,119	695,609	—
合 計		—	—	—	2,103,928	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内投資信託受益証券、投資証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		
	単位数または口数		単位数または口数	評 価 額	
TOPPIX連動型上場投資信託		千口 21.29		千口 173.88	千円 485,125
合 計	口 数 、 金 額	21.29		173.88	485,125
	銘 柄 数 < 比 率 >	1		1	<3.3%>

(注1) 合計欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(3) 外国投資信託受益証券、投資証券

銘柄	期首(前期末) 単位数又は口数	当期末		
		単位数又は口数	評価額	邦貨換算金額
			外貨建金額	
(イギリス)		千口	千口	千円
ISHARES PHYSICAL GOLD ETC	—	12.875	832	119,151
AMUNDI US TIPS GOVERNMENT INFL	5.964	—	—	—
ISHARES CORE MSCI PACIF X-JP	1.126	—	—	—
ISHARES MSCI INDIA UCITS ETF	29.96	—	—	—
KRANESHARES CSI CHINA INT ETF	51.729	72.508	1,646	235,601
ISH EDGE S&P500 MIN VOL USD AC	27.557	—	—	—
ISHARES II PLC - ISHAR TIP ETF	—	1,668.828	8,516	1,218,728
ISHARES S&P CONSUMER DSCRTN	—	78.291	1,043	149,296
FID SUS GLB HY ETF USD HG	715.592	—	—	—
ISHARES JPM EM LCL GOV USD A	148.751	—	—	—
ISHARES MSCI KOREA UCITS ETF U	22.783	—	—	—
INVESTO AT1 CAPITAL BOND UCITS ETF	—	0.003	0	11
L&G ESG EMERGING MARKETS GOVER	537.769	790.75	7,165	1,025,494
ISHARES BROAD USD HY UCITS ETF	—	1,008.773	4,746	679,239
GX COPPER MINERS UCITS ETF	—	69.582	2,066	295,669
DB X-TRACKERS CNX NIFTY UCITS	—	8.86	2,422	346,753
SPDR S&P 400 US MID CAP ETF -	24.491	—	—	—
ISHARES CORE S&P 500 UCITS ETF	11.406	—	—	—
ISHARES S&P 500 IT ETF USD ACC	—	112.875	3,283	469,906
ISHARES JPM USD EM BND USD A	—	258.922	1,505	215,396
ISHARES S&P 500 COMM SEC UCI	—	309.159	3,326	476,062
ISHARES MSCI TAIWAN	3.667	—	—	—
ISHARES US MBS UCITS ETF	685.18	1,275.412	6,706	959,712
(オランダ)				
ISHARES MSCI CHINA UCITS ETF	60.749	—	—	—
(アメリカ)				
FIRST TR NASDAQ CLEAN EDGE ETF	—	8.89	1,035	148,140
小計	口数、金額	2,326.724	5,675.728	44,295
	銘柄数 <比率>	14	14	<42.5%>
(イギリス)		千口	千口	千円
ISHARES PHYSICAL GOLD ETC	—	19.356	941	179,296
ISHARES CORE FTSE 100 ACC	1.03	—	—	—
小計	口数、金額	1.03	19.356	941
	銘柄数 <比率>	1	1	<1.2%>
(イスラエル)		千口	千口	千円
ISHARES CORE SPI ETF CH	—	3.399	482	83,214
小計	口数、金額	—	3.399	482
	銘柄数 <比率>	—	1	<0.6%>
ユーロ(アイルランド)		千口	千口	千円
VANGUARD EUR COR BND UCITS ETF	34.444	—	—	—
SPARKCHANGE PHYSICAL CARBON EU	19.041	—	—	—
小計	口数、金額	53.485	—	—
	銘柄数 <比率>	2	—	<-->

銘柄		期首(前期末)	期末		
		単位数又は口数	当期	評価額	
			単位数又は口数	外貨建金額	邦貨換算金額
ユーロ（ルクセンブルグ）		千口	千口	千ユーロ	千円
AMUNDI MSCI BRAZIL		4,307	—	—	—
XTRACKERS II EUR HY UCITS ETF		—	144.694	2,318	376,744
小計	口数、金額	4,307	144.694	2,318	376,744
	銘柄数<比率>	1	1	—	<2.5%>
ユーロ（フランス）		千口	千口	千ユーロ	千円
AMUNDI MSCI GREECE UCITS ETF D		525.878	—	—	—
小計	口数、金額	525.878	—	—	—
	銘柄数<比率>	1	—	—	<→>
ユーロ（ドイツ）		千口	千口	千ユーロ	千円
ISHARES STOXX EUROPE 600 CNSTR		—	25.73	2,009	326,544
ISHARES CORE EURO STOXX 50 ETF		7.392	12.488	646	104,988
小計	口数、金額	7.392	38.218	2,655	431,532
	銘柄数<比率>	1	2	—	<2.9%>
ユーロ計	口数、金額	591.062	182.912	4,973	808,277
	銘柄数<比率>	5	3	—	<5.4%>
合計	口数、金額	2,918.816	5,881.395	—	7,409,953
	銘柄数<比率>	20	19	—	<49.7%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) <>内は、純資産総額に対する各国別投資信託受益証券、投資証券評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(4) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別	当期			期末		
	買	建	額	売	建	額
外国			百万円			百万円
S&P/TSX 60 IX FUT			30			—
US 5YR NOTE (CBT) FUT			201			—
US 10YR ULTRA FUT			682			—
CAN 10YR BOND FUT			189			—
LONG GILT FUT			106			—
KOREA 10YR BND FUT			1,920			—
EURO BUND FUTURE			42			—
EURO BUXL FUT			323			—
EURO-BTP FUT			274			—
EURO-OAT FUT			388			—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(5) スワップ及び先渡取引残高

種類	取引契約残高					
	当期末想定元本額			売建		
	買	建	百万円	売	建	百万円
直物為替先渡取引(NDF)			—			89

(注) 金額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2025年4月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 2,465,908	% 16.0
投 資 信 託 受 益 証 券	7,895,078	51.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	5,064,989	32.8
投 資 信 託 財 产 總 額	15,425,977	100.0

(注1) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、4月25日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=143.11円、1カナダ・ドル=103.20円、1ニュージーランド・ドル=85.67円、1イギリス・ポンド=190.52円、1スイス・フラン=172.36円、100韓国・ウォン=10.00円、1南アフリカ・ランド=7.61円、1ペルー・ソル=38.925円、1ユーロ=162.52円です。

(注2) 当期末における外貨建資産(9,674,101千円)の投資信託財産総額(15,425,977千円)に対する比率は、62.7%です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨てて。

■特定資産の価格等の調査について

調査を行った者の氏名又は名称

有限責任監査法人トーマツ

調査の結果及び方法の概要

調査依頼を行った取引は2024年4月26日から2025年4月25日までの間でノンディリバラブルフォワード(以下「NDF」という。)取引143件でした。これらのNDF取引について、「投資信託及び投資法人に関する法律(昭和26年法律第198号)」第11条第2項に基づいて比較可能なレートのほか、現地約定日、取引の相手方の名称、約定通貨、決済通貨、約定金額(約定通貨建)、約定金額(決済通貨建)、売買の別及び決済日に関して、有限責任監査法人トーマツに調査を委託し、日本公認会計士協会が公表した専門業務実務指針4460「投資信託及び投資法人における特定資産の価格等の調査に係る合意された手続業務に関する実務指針」に基づく調査結果として合意された手続実施結果報告書を入手しています。

なお、本調査は財務諸表監査の一部ではなく、また価格の妥当性や内部管理体制について保証を提供するものではありません。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年4月25日現在)

項目	当期末
(A) 資産	24,629,946,686円
コール・ローン等	4,818,465,654
公社債(評価額)	2,465,908,700
投資信託受益証券(評価額)	7,895,078,906
未収入金	9,243,190,763
未収配当金	441,731
未収利息	23,810,886
前払費用	10,630,581
差入委託証拠金	172,419,465
(B) 負債	9,724,730,463
未払金	9,658,088,493
未払解約金	66,641,970
(C) 純資産総額(A-B)	14,905,216,223
元本	14,411,574,483
次期繰越損益金	493,641,740
(D) 受益権総口数	14,411,574,483口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,343円

(注1) 当ファンドの期首元本額、期中追加設定元本額、期中一部解約元本額は以下の通りです。

期首元本額	8,660,669,486円
期中追加設定元本額	6,190,539,931円
期中一部解約元本額	439,634,934円

(注2) 当ファンドの当期末元本の内訳は以下の通りです。

ファイデリティ・ロイヤル・コア・ファンド	14,411,574,483円
----------------------	-----------------

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

■損益の状況

当期 自2024年4月26日 至2025年4月25日

項目	当期
(A) 配当等収益	284,297,190
受取配当金	159,916,632
受取利息	123,445,943
その他の収益	934,615
(B) 有価証券売買損益	△449,798,900
売買益	2,646,128,688
売買損	△3,095,927,588
(C) 先物取引等損益	92,552,482
取引益	277,287,380
取引損	△184,734,898
(D) 信託報酬等	△3,551,867
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△76,501,095
(F) 前期繰越損益金	224,004,794
(G) 解約差損益金	△18,815,830
(H) 追加信託差損益金	364,953,871
(I) 合計(E+F+G+H)	493,641,740
次期繰越損益金(I)	493,641,740

(注1) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等損益は期末の評価換算によるものと含みます。

(注2) (D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注4) (H)追加信託差損益金とあるのは、追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

●2025年4月1日付で投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款中の関連条項に所要の変更を行いました。2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。